

## 診断群分類の妥当性に関する調査（MDC毎の作業班）について

## 1. 調査の目的作業班設置の目的

- 診断群分類に基づく入院医療の包括評価制度（DPC）の円滑な運用を目的として、包括評価制度の基本である診断群分類について、その「妥当性」の検証を行う。

## 2. 班構成

- ◎ 齋藤 壽一 社会保険中央総合病院長
  - ◎ 出月 康夫 南千住病院名誉院長
- MDC毎の作業班班員については別途調整

## 3. 調査方法

- 臨床専門家、DPC比較調査研究担当責任者、統計専門家などにより構成されるMDC毎の作業班を組織し、データに基づき、診断群分類の妥当性を検証する。
- 診断群分類毎の問題点は平成17年3月を目処として取りまとめる。

## 4. 今後のスケジュール

8月初旬 MDC毎の作業班班長会議開催・MDC毎の作業班共通作業方針の確認

8月～1月 MDC毎の作業班の開催（各班3回程度）

2月上旬 MDC毎の作業班班長会議開催・各班からの報告

2月中旬 診療報酬調査専門組織への報告